

地域がまもる震災遺構

～益城町平田地区の震災遺構を巡るまち歩き～

KUMAMOTO Science Cafe



右横ずれ断層がわかりやすいフェンス



横ずれで変形した消防小屋

話題提供 熊本地震・平田震災遺構保存会の皆さん

熊本地震の体験を未来へ語り継ぐことは、多くの人々にとってとても大切なこととされています。特に震災遺構は、地震が私たちの生活環境に与えた影響をリアルに伝えてくれるため、その保存と活用が自治体を中心に検討・実施されています。しかし、長期的な保存には維持管理など、さまざまな課題が残されています。益城町平田地区では地域住民が主体となり、地区周辺での熊本地震の爪痕を震災遺構として保存し、防災教育に活用する取り組みを続けています。これまでの活動によって地震当時のままに保存された遺構には学術的・教育的価値も高く、その功績から、「熊本地震・平田震災遺構保存会」は日本活断層学会賞を受賞しました。今回は、保存会の皆さんとともに平田地区周辺の震災遺構を巡ります。

▶参考図書「熊本地震の痕跡からの学び」(熊日出版) 116-121ページ

くまもと
サイエンス
カフェ とは?

ゆったりとした対話形式でお茶を飲みながら熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立てていただくことを目的とした取り組みです。

Information

日時

5/24^{Sat}
2025 13:00
16:00

集合場所

益城町福田町民グラウンド駐車場
熊本県益城町福田

対象

どなたでも 先着30名

共催

熊本大学・熊本地方気象台
国土交通省阿蘇砂防事務所
阿蘇青少年交流の家
熊本県危機管理防災課
熊本県博物館ネットワークセンター

申込

減災型社会システム部門のWebサイトか、下記の
二次元コードからお申し込みください。

申込締切 5月23日(金) 12:00

※定員に達し次第締め切ります



お問い合わせ

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 減災型社会システム部門
096-342-3489 (火～金 9:00-16:00) gensai@kumamoto-u.ac.jp



Webサイト